

災をテーマとした竹飾りをメイン通りに掲げました。

また近隣の市町村の教育委員会の協力を得て平塚・大磯・茅ヶ崎の小学生から絵と読み札を募集、地域の200人余の方々に協力していただき、通常のおよそ2倍の大きさの20組の「防災かるた」を制作しました。このかるたは、今も機会あるごとに会のイベントで利用したり、地域や学校に貸し出して喜ばれています。



防災かるた

2009年～2012年の4年間は平塚市との協働事業を展開しました。

2009年度は平塚市との協働事業として地域の方にパネリストと防災活動をお話しいただく「防災フォーラム」を提案し、採択され、地域パネリスト選出を目的に平塚市全自治会を対象に防災アンケートを実施しました。アンケートの回収率は実に76%を超えるものでした。市民活動団体単独でのアンケートではせいぜい回収率20%程度しか期待できず、市民の行政への信用の高さを実感しました。アンケートの回答から先進的意欲的と思われる40自治会に電話アンケートを実施し、最終的に素晴らしい活動を行っている4地域に絞り込み、4名の方にパネリストとなって頂いて、2010年2月、平塚市初の住民参加型防災フォーラムを実施しました。(2010年度も同様に市民参加型防災フォーラムを実施)

2011年～2012年は「平塚市防災活動者育成研修初級中級」担当し、受講者が「地域に帰って防災まち歩き・防災MAPづくりができるようになること」を目的に、研

修を行いました。

2 今後の展開

自治会の防災訓練にも協力要請があるたび、防災かるたを使ったゲーム、防災基礎知識を知ってもらうための防災関連セットを使った実験、防災寸劇などで協力していきます。

防災講演会もしくは防災懇談会は毎年実施することにしていきます。2009年度2012年度に実施し課題解決に至る手立てが見い出せないまま休止していた集合住宅・マンション防災懇談会には、2016年度から装いも新たに再び取組を始めました。

避難行動要支援者への取組は、講演会やワークショップなどできる範囲での協力を実施しています。

自然災害の多発が予想される今後、防災教育はとても大切だと考えています。これまで同様、幼稚園や小中高の生徒や先生方への防災授業やワークショップを今後も継続していくつもりです。



学童保育防災教育



高校防災教育